

年末調整や確定申告には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を!

問い合わせ先 熊本西社会保険事務所国民年金業務課 ☎096 (355) 3261

国民年金保険料は社会保険料控除の対象

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税の社会保険料控除の対象となります。国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合は、毎年1月1日から12月31日までの間に、納付(納付見込みを含む)した国民年金保険料の額を証明する書類の添付などが必要です。

このため、生命保険会社などが発行する控除証明書と同様に、1年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」(ハガキ)が、社会保険庁から毎年11月上旬と2月上旬に送付されます。

11月上旬に送付の場合

証明内容は、今年1月から10月1日までの間に納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込み額です。

2月上旬に送付される場合

年の途中から国民年金に加入したなど、10月2日から12月31日までの間に初めて保険料を納付する人は、翌年2月上旬に同様の証明書が送付されます。

国民年金保険料は世帯で連携して納付

国民年金保険料は、被保険者本人だけでなく、その世帯の世帯主および配偶者も連携して納付する義務があります。家族の国民年金保険料を納付した場合は、その納付額の全額が納付した人の所得税などの控除対象となりますので、年末調整などの手続きの際に、自身の社会保険料の額と合算して申告してください。この場合、家族分の「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」も、申告する人の申告書に添付する必要があります。

10月号11ページで紹介した「電話で再交付ができます!!」の中の「控除証明書専用ダイヤル」の電話番号が変更になりました。

変更前 ☎0570 (00) 9911
変更後 ☎0570 (070) 117
 ※IP電話からは03 (6478) 8882

熊本県内社会保険事務所の完全ダイヤルイン化

熊本県内の社会保険事務所への電話は、現在、担当課へ直接つながるダイヤルインを導入しています。今後、代表電話は順次廃止する予定ですので、下記のダイヤルインへ電話をお願いします。

※菊池市は「熊本西社会保険事務所管内」となります。

事務所名	業務内容	徴収課	業務課	国民年金業務課	庶務課		
熊本西社会保険事務所	健康保険・厚生年金の保険料の相談・照会	096 (353) 0638	健康保険への加入や保険料の納付などに関する手続	096 (355) 3262	国民年金の資格、保険料の納付、免除の相談・照会	096 (355) 3261	096 (353) 0142
玉名社会保険事務所			業務課で担当	0968 (74) 1626	0968 (74) 1638	0968 (74) 1612	0968 (74) 1612
熊本東社会保険事務所		096 (367) 2531	096 (367) 2508	096 (367) 8144	096 (367) 2503	096 (367) 2503	096 (367) 2503
八代社会保険事務所		0965 (35) 6219	0965 (35) 6139	0965 (35) 6143	0965 (35) 6123	0965 (35) 6123	0965 (35) 6123
本渡社会保険事務所			業務課で担当	0969 (24) 2116	0969 (24) 2154	0969 (24) 2112	0969 (24) 2112



菊池一族 24 代による掛け声で「いざ出陣！」



立町通りを練り歩く通し物

10/13(祝)・15日(水) 菊池秋まつり

菊池秋まつりが市民広場をメイン会場にあり、たくさんの家族連れや観光客などで賑わいました。

13日には、上町御所通りの能場で、国重要無形民俗文化財に指定されている「御松囃子御能(おんまつばやしおのう)」が奉納されました。地元の「御松囃子御能保存会(西岡史郎会長)」が、毎年この日に合わせて奉納しているものです。

菊池一族が南朝方の懐良親王の慰労のために開いた宴で披露された舞が起源で、能場の向かいにあるムクの大木「將軍木」を親王に見立てて奉納されました。太鼓・大鼓(おおつづみ)の囃子と地方に合わせ披露された幽玄な舞に、詰め掛けた観客は魅了されました。

15日の午前には、菊池氏発祥の地、深川の頓宮までの御神幸がありました。神幸行列は、御神馬や御神輿、懐良親王御輿などに続き、中世の衣装を身にまとった福村市長や菊池千本槍隊などが、さながら中世絵巻のように続き、化粧をしたお稚児さんや就学前の子どもたちもハッピーを着てお供しました。

午後には、地域や団体から参加した17グループの約1500人が参加して「通し物」がありました。商店街を北まわりと南まわりの二手に分かれて練り歩き、神輿や踊りなどのパフォーマンスが次々と披露され、沿道からは盛んな喝采と声援が送られていました。

10/18日(土) 七城ふるさとコスモスまつり

七城ふるさとコスモスまつりコスモスウォークが、七城総合グラウンド・菊池川河川敷七城リバーサイドパーク周辺であり、県内外から約600人が心地よい秋晴れの中、爽やかな汗を流しました。

5km・10kmに分かれた参加者が菊池川と迫間川河川敷に咲く150万本のコスモスを観賞しながら秋の心地よい風とともに散策しました。

また、コスモスまつり午後の部では、午後4時から地元中学生による吹奏楽部の演奏をはじめ、地元になんだ×クイズ、肥後にわかなどのステージイベントがあり、会場内は賑わいをみせていました。午後6時からは、七城リバーサイドパークと対岸を結ぶ歩道橋「コスモブリッジ」と、満開のコスモスがライトアップされ、会場内は幻想的な空間へと様変わりしていました。メインの打上げ花火や仕掛け花火がコスモスとともに、会場周辺を色鮮やかに飾り、訪れた家族連れなどを魅了しました。



満開のコスモスを眺めながら歩く参加者



七城天守太鼓によるステージ披露



秋空に花咲く打上げ花火